

令和 7 年中の交通事故死者数について(全国)

1. 交通事故発生状況 (速報値)

○ 発生件数 287,236 件(-3,659 件) ○ 負傷者数 338,294 人(-5,462 人)

○ 死者数 2,547 人(-116 人)

※ 1948 年以降最少の死者数、要因として歩行者の重大事故が減少

(都内) ○ 発生件数 32,511 件(+222 件) ○ 負傷者数 33,425 人(+301 人)

○ 死者数 134 人(-12 人)

※ 死者の約半数は、65 歳以上の高齢者

死者数の内訳は、歩行者 60 人、自二・原付 35 人、自転車 21 人

自転車乗用中の死者は全員がヘルメット未着用

2. 交通事故死者数

○ 死者数 2,547 人 人口 10 万人当たりの死者数 2.06 人

○ 上・下半期別死者数

上半期 1,161 人 月平均 193.5 人 1 日当たり 6.4 人

下半期 1,386 人 月平均 231 人 1 日当たり 7.0 人

○ 都道府県別死者数(平均 54.19 人)

① 神奈川 139 人(+30) ② 東京 134 人(-12) ③ 北海道 129 人(+25) ④ 埼玉 125 人(+12)

⑤ 千葉 122 人(-9) ⑥ 大阪 120 人(-7) ⑦ 愛知 112 人(-29) ⑧ 兵庫 98 人(-11)

⑨ 福岡 85 人(-6) ⑩ 茨城 82 人(-12)

① 鳥取 17 人(+2) ① 島根 17 人(+8) ③ 山梨 19 人(-9) ③ 徳島 19 人(-14)

⑤ 香川 20 人(-11) ⑤ 佐賀 20 人(-4) ⑦ 福井 21 人(-2) ⑧ 山形 23 人(-1)

⑨ 奈良 25 人(+2) ⑨ 高知 25 人(-4)

○ 人口 10 万人当たりの死者数(2.06 人)

① 滋賀 3.85 人 ② 高知 3.81 人 ③ 大分 3.78 人 ④ 和歌山 3.75 人 ⑤ 秋田 3.68 人

⑥ 栃木 3.66 人 ⑦ 愛媛 3.61 人 ⑧ 三重 3.45 人 ⑨ 岩手 3.41 人 ⑩ 宮崎 3.29 人

① 東京 0.95 人 ② 大阪 1.37 人 ③ 愛知 1.50 人 ④ 神奈川 1.51 人 ⑤ 福岡 1.67 人

⑥ 宮城 1.69 人 ⑦ 埼玉 1.70 人 ⑧ 兵庫 1.84 人 ⑨ 京都 1.94 人 ⑩ 奈良 1.95 人

○ 高齢者(65 歳以上)の死者数

全年齢 2,547 人中 1,423 人

高齢者構成率 55.9% (前年比-0.9%)

○ 人口 10 万人当たりの高齢者(65 歳以上)の死者数

全年齢 2.06 人中 3.93 人 (前年比-0.25 人)

3. 令和 8 年交通安全推進項目(国家公安委員会委員長のコメント抜粋)

(1) こども、高齢者を始めとする歩行者の安全確保

(2) 交通反則通告制度が導入される自転車の交通ルール遵守のための安全教育の充実

(3) 飲酒運転、「ながらスマホ」等の悪質・危険な交通違反の取り締まり

以上